

中央広域環境施設組合

ゴミ焼却処理場を運営する組合
施設は吉野町にあります。

構成市町は

- 吉野川市
- 阿波市
- 板野町
- 上板町



一部事務組合

共同では運営が難しい問題も

山川消防署移転で問題噴出

吉野川市単独の道も研究

市は現在、様々な分野で阿波市や板野郡の町などと共同で「一部事務組合」を作り、「ゴミ焼却場」や「し尿処理」「火葬場」などを共同で運営していますが、合併して十年が経ち、問題が噴出しています。

今、山川町にある消防署の移転問題で、阿波市と吉野川市の間で「綱引き」が行われていると新聞に書かれています。しかし、これは「綱引き」ではなく、現在の山川消防署付近に移転するのが地理的にも人口分布的にも妥当で、吉野川市としては一歩たりとも譲れないもので、「綱引き」ではなく、固定されたロープを勝手に引いているようなものです。

もともと、共同で「消防署」などを運営するようになったのは、合併前の旧町村では、単独でできないため、旧麻植郡の鴨島・川島・山川・美郷の三町一村と阿波郡の市場・阿波町、板野郡の土成町・吉野町が協力して、消防組合を設立しました。

「ゴミ焼却場」も板野町と上板町が加わって旧麻植郡と阿波郡の9町1村で「中央広域環境施設組合」を運営しています。

しかし合併後、町から市になり、自治体の規模が大きくなったことや、自治体ごとの状況の違いから、共同でやるのが、市にとってマイナスになっています。例えば、くみ取り便所や浄化槽などの、し尿を処理する施設を運営している阿北環境整備組合は、昭和61年4月より阿波・市場・土成・吉野・鴨島・川島・山川町・美郷村の7町1村で運営してきました。しかし、その後吉野川市は公共下水が広範囲に普及しており、し尿処理の搬入量が大幅に減少しています。一方、阿波市は下水道整備を進めていないため、阿北環境整備組合へのし尿の搬入量の割合が大きくなっています。

火葬場についても、吉野川市には元々鴨島町が整備した「吉野川斎場」があるのですが、山川町と川島町は市

場町にある「阿北火葬場」を利用して
おり、鴨島とは斎場使用料金も違って

ゴミ焼却場についても、共同で吉野町にある「中央環境センター」を利用していますが、一トンのゴミを処理するのに4万円を超える費用がかかっており、これは以前、鴨島町にあったゴミ焼却場の5倍の費用で、
とんでもない処理費を負担しています。

市は議会でも、「各一部事務組合においていろいろな問題が発生しており、
本市単独での処理という道も、調査・研究してまいりたい」と副市長が
言明しました。

今後、吉野川市にとって大きな問題になりそうです。

徳島中央広域連合

火災の時の消防や救急、災害対策をします。
鴨島町に消防本部・東消防署、山川に西消防署、市場町に中消防署があります

構成は、

- 吉野川市
- 阿波市

の二市です。



阿北火葬場管理組合

市場町にある火葬場を運営しています。
旧山川町・川島町・市場町・阿波町の方が利用しています。

構成は、吉野川市
阿波市の二市です。



阿北環境施設整備組合（し尿）

くみ取り便所や浄化槽などの、し尿を処理する施設を運営しています。
施設は市場町にあります。

構成市町は

- 吉野川市
- 阿波市
- 神山町
- 上板町

